

下仁田厚生病院院長の山下です。

HPを見ていただきありがとうございます。

当院での仕事や待遇などについてなるべく具体的に説明させて頂ければと思います。医局制度の崩壊で小さな病院には医局から派遣ができない状況になっており、自力で医師を確保しなければならなくなっています。もともと専門性は求められることは少ないですが、下記に挙げる業務をやっただけののなら診療科は問いません。地域医療のために先生方の力が必要なのです。

病床としましては、現在一般病棟(4F)は地域包括ケア病棟として 46 床あります。また病院施設内(5F)に介護医療院が 40 床あります。

2026年4月現在では、大学からの非常勤の先生を除いた場合、私と前院長、名誉院長を含め 6 人の医師がいます。前院長・名誉院長には外来と往診そして人間ドックを手伝ってもらっています。実は院長でありながら一番年下であり勤務期間が一番短いのも私で、令和 8 年度で下仁田厚生病院 15 年目になりましたが、誰も医師はやめていません。医師にとって働きやすい病院だと思います。

人数が少ないので宿直の回数(5,6回)が多くなるのだけがネックですが、病院の体制的に夜間は救急は受けられませんので基本病棟管理のみが多いです。その代わり曜日固定の代休日(研究日)として平日は週4日勤務としております。代休日にバイトをされている先生もいます。週4日勤務で他の週5日勤務の多くの公立病院より給与は良いので業務に対する給与の満足度は高いと思います。医師がやめていかない一番の理由はそこだと思います。さらに皆で協力して夏休みは2週間(1週ずつ2回)とっております。

実際に行う業務としては、消化管内視鏡検査が可能かどうかで異なりますが、外来が午前中に内科的外来(総合医的外来)を1-3回/週でその他専門外来をやっている先生もいます。ただ医療圏の人口が8000人程だと思いますので人数は少なめだと思います。

また午後には専門外来以外は定期の外来をやっていませんので当番制で週1,2回午後の外来が割り当てられます。ただし高齢者が多く交通手段がないため一人も来ないこともあります。2-3人健診の人がいることもあります。午後は病院全体がのんびりしていることが多いと思います。

病棟は大体 10-15 人くらいの担当だと思いますが、高齢者の多い地域のため入院患者の多くが脱水、感染症(尿路、肺炎など)、心不全であり DNAR の人が殆どです。大学から循環器科、内分泌糖尿病科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、小児科などの先生達が非常勤として勤務しているためコンサルトも可能ですし、常勤も消化器、呼吸器、外科なので相談しながら診療が可能です。大病院と違い他科との敷居が極めて低いため、私自身も外来途中で外科の先生に CT を見てもらい判断を仰ぐようなこともしております。もちろん自分も何でも相談に乗ります。

医師が増えればそれだけ担当が減ることになりますので、まず 2, 3 人一緒に働いてくれる人が欲しいです。今まで医局人事で回っていた病院なので他の方が目にすることがなかったのですが、この病院の働きかたを知ってもらえれば働きたいと思ってくれる人もいるのではないかと考えます。急性期病院に疲れた方や、病院に勤めたいけどすこしのんびりしたい方など是非連絡してみてください。

【まとめ】

- ・ 平日週 4 日勤務、宿直は 5-6 回/月 (主に病棟管理)
- ・ 夏休みは 1 週ずつ 2 回とれる
- ・ 午前外来 1-3 回/週
- ・ 専門外来開設可能
- ・ 午後外来担当 1-2 回/週 (あまり患者が来ない)
- ・ 病棟は 10-15 人程度の受け持ち、完全当直医制
- ・ 8:30~17:15 の勤務時間ですが、ほぼ時間で帰宅可能
- ・ 施設は院長が全員回診していますが、病棟からの主治医を持ち越しており何かあったら対応してもらおうくらいで ok です